

「シンポジウム 新国立競技場案を神宮外苑の歴史的文脈の中で考える」 を開催する趣旨

JIA MAGAZINE 295 号に掲載された、槇文彦氏の「新国立競技場案を神宮外苑の歴史的文脈の中で考える」という論考を私たちは重要な問題提起として受け止めました。

そこにはこの巨大建築に対して3つの視点が示されています。場所の歴史と都市景観の問題、公共建築のプログラムの問題、そしてコンペのあり方の問題です。いずれも今日の私たちの社会、都市、建築文化のあり方を改めて問うものです。

氏は編集長の問いかけに対し「一老建築家が、このようなエッセイを書かなければならなかったその背後にある我々の建築文化の風土について、少し皆で考えてみることであればいいことだと思っています」と語っています。

私たちはこのコメントを引継ぎ、この問題をさらに深めたいと考えシンポジウムを企画しました。

2013年9月10日

新国立競技場を考えるシンポジウム実行委員会

名称 **シンポジウム**
新国立競技場案を神宮外苑の歴史的文脈の中で考える

パネリスト **榎 文彦 陣内秀信 宮台真司 古市徹雄（兼進行）**

日時 **2013年（平成25年）10月11日（金）18:00~20:00**

場所 **日本青年館中ホール**
東京都新宿区霞ヶ丘7番1号 J R総武線千駄ヶ谷駅
東京メトロ銀座線外苑前駅 都営大江戸線国立競技場駅 各徒歩10分

会費 一般 1,000円 学生 500円

定員 先着350名
定員を超えた場合は別会場にてモニター上映をいたします
U-STREAMにてライブ中継も行われます。
<http://www.ustream.tv/channel/jia-kksk>

趣旨 **JIA MAGAZINE 295号に掲載された、榎文彦氏の「新国立競技場案を神宮外苑の歴史的文脈の中で考える」という論考を私たちは重要な問題提起として受け止めました。この問題をさらに深めたいと考え、シンポジウムを企画しました。**

主催 **新国立競技場を考えるシンポジウム実行委員会**

後援 (公社) 日本建築家協会、 (一社) 東京建築士会

発起人（あいうえお順）：
五十嵐太郎 伊東豊雄 乾久美子 宇野 求 大野秀敏 北山 恒
隈 研吾 栗生 明 小島一浩 小林正美 佐々木龍郎 陣内秀信
曾我部昌史 高見公雄 多羅尾直子 塚本由晴 富永 譲 中沢新一
中村 勉 南條洋雄 西田 司 波部玲子 日色真帆 藤村龍至
古市徹雄 古谷誠章 堀 啓二 松永安光 三井所清典 元倉眞琴
門内輝行 山本圭介 山本理顕 吉村 靖孝

事務局 **新国立競技場を考えるシンポジウム実行委員会事務局**
代表 元倉眞琴
mail:kokuritsu.wo.kangaeru@gmail.com



日本青年館周辺地図